



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月15日

上場会社名 夢展望株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3185 URL http://www.dreamv.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 隆宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 阪田 貴郁 (TEL) 072-761-9293
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績 (平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	3,847	4.5	△130	—	△153	—	△210	—
25年9月期第2四半期	3,680	—	227	—	209	—	126	—

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 △198百万円(—%) 25年9月期第2四半期 132百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	△149.95	—
25年9月期第2四半期	121.35	—

(注) 1 平成25年4月1日付で1株につき300株の株式分割を行いました。平成25年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 平成25年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

3 平成26年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第2四半期	2,895	937	32.4
25年9月期	2,955	1,135	38.4

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 937百万円 25年9月期 1,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想 (平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,647	13.1	△441	—	△482	—	△568	—	△392.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(注) 当第2四半期連結累計期間において、主要な関係会社における異動はありませんが、当社の平成26年2月3日の取締役会により、南通佳尚服装有限公司の解散を決議しております。

それに伴い当第2四半期連結会計期間末における損失見込額16,357千円を事業整理損失引当金として計上しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	1,404,000株	25年9月期	1,404,000株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	—株	25年9月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	1,404,000株	25年9月期2Q	1,044,000株

(注) 平成25年4月1日付で1株につき300株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたってはの注意事項等については、資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成26年5月22日(木) 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策により、企業収益の改善が見られたり個人消費が好調に推移するなど景気回復傾向にある一方で、欧州債務問題・新興国経済の減速といった海外経済の不安や円安による原材料の上昇、消費税増税後の個人消費への影響などの懸念材料もあり、先行きの不透明感は依然として払拭しきれない状況にあります。

当社グループが属するアパレル小売業界におきましては、本格的な景気回復への期待感から一部に消費回復傾向は見られるものの限定的であり、また、円安による原材料価格の高騰に加え、天候不順も相まって厳しい経営環境となりました。

このような市場環境の下、当社グループにおきましては、若年層向けの低価格レディース業態だけでなく、新規顧客層の獲得と販路の拡大のため、昨年11月に策定した中期経営計画に掲げる新ブランドの立上げや他社とのコラボレーションによる新ブランド開発の準備を積極的に進めております。その一環として、昨年12月に、当社グループのプレスルーム機能を有する東京支店を港区北青山から渋谷区道玄坂に移転・拡張し、情報発信力の更なる強化を図るとともに、新ブランド開発の拠点として人員・設備等の体制強化を図っております。また、百貨店や大型商業施設等での期間限定の実店舗販売や他社E Cモールへの出店といった取組みも進めており、販売チャネルの多様化を図るオムニチャネル戦略の展開も積極的に進めております。

一方で、既存ブランド商品においては、低価格レディース業界の不調に加えて、円安の影響により衣料品を中心とした輸入仕入原価が上昇傾向にあり、厳しい市場環境下での競争を強いられております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は3,847百万円(前年同四半期比4.5%増)、営業損失は130百万円(前年同四半期は営業利益227百万円)、経常損失は153百万円(前年同四半期は経常利益209百万円)、四半期純損失は210百万円(前年同四半期は四半期純利益126百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(衣料品販売事業)

衣料品販売事業におきましては、リピート率の向上や新規顧客の獲得を目指し、品質の強化や顧客アンケート調査等を取り入れた商品展開、また雑誌社など他社とのコラボレーション企画を実行するなど、顧客満足度の向上に引き続き取り組んで参りました。しかしながら、天候不良や低価格レディース業界の不振等もあり、秋冬物衣料が予想外の苦戦を強いられることとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の衣料品販売事業の売上高は3,015百万円(前年同四半期比3.8%減)、営業損失は130百万円(前年同四半期は営業利益272百万円)となりました。

(玩具・雑貨販売事業)

玩具・雑貨販売事業におきましては、引き続き少子化や消費者ニーズの多様化、円安による原材料高騰といった厳しい環境にはあるものの、個人消費の持ち直しもあり主要取引先からの受注は増加しております。また積極的に受注活動を行うとともに、業務の効率化・最適化をさらに進めており、安定した利益の確保を目指して取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の玩具・雑貨販売事業の売上高は662百万円(前年同四半期比

79.9%増)、営業利益は20百万円(前年同四半期は営業損失32百万円)となりました。

(その他事業)

その他事業では、メーカーや小売事業者向けの広告販売事業、コンタクトレンズ販売事業、テレビ通信販売事業者及び他社インターネットモール等への卸売事業を行っております。コンタクトレンズ販売事業では、衣料品販売サイトと同一サイト内でコンタクトレンズを宣伝・販売することにより、衣料品と共に購入していただく機会をより高めて、当社グループの衣料品販売事業との相乗効果による売上向上を図っております。また、テレビ通信販売事業者向けの卸売事業では、独立ブランド「Chapter One」により、これまでの顧客層とは違う年齢層の顧客獲得を進めるとともに、異なる角度からの認知度向上を図っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間のその他事業の売上高は168百万円(前年同四半期比4.6%減)、営業損失は20百万円(前年同四半期は営業損失11百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて99百万円減少し、2,551百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が185百万円、商品及び製品が163百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて39百万円増加し、343百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産が17百万円、無形固定資産が34百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、2,895百万円となりました。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて260百万円減少して1,036百万円となりました。この主な要因は、未払金が23百万円増加しましたが、短期借入金が150百万円、買掛金が174百万円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて398百万円増加して921百万円となりました。この主な要因は、長期借入金が399百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ138百万円増加し、1,957百万円となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて198百万円減少して937百万円となりました。これは主に四半期純損失を210百万円計上したことによるものであります。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べ、289百万円増加し、1,237百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は66百万円（前年同四半期は308百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失170百万円を計上したものの、減価償却費49百万円の計上、売上債権191百万円及び棚卸資産179百万円の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は95百万円（前年同四半期は49百万円の減少）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出57百万円及び有形固定資産の取得による支出28百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は319百万円（前年同四半期は159百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の純減額150百万円、長期借入金の返済による支出129百万円があったものの長期借入れによる収入600百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月1日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	993,973	1,277,853
受取手形及び売掛金	601,402	416,014
商品及び製品	893,948	730,014
繰延税金資産	14,310	—
その他	148,848	128,503
貸倒引当金	△1,185	△952
流動資産合計	2,651,299	2,551,434
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	26,565	41,498
機械及び装置(純額)	3,442	3,277
工具、器具及び備品(純額)	26,101	29,235
リース資産(純額)	4,250	3,500
有形固定資産合計	60,359	77,512
無形固定資産		
ソフトウェア	166,842	218,001
ソフトウェア仮勘定	15,540	511
商標権	4,756	5,246
リース資産	4,620	2,515
無形固定資産合計	191,760	226,273
投資その他の資産		
繰延税金資産	23,592	—
その他	28,035	39,796
投資その他の資産合計	51,628	39,796
固定資産合計	303,747	343,581
資産合計	2,955,046	2,895,016

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	447,873	273,756
短期借入金	200,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	232,352	303,108
リース債務	1,577	1,602
未払金	299,926	322,995
未払法人税等	30,151	4,766
ポイント引当金	8,990	13,899
賞与引当金	14,403	17,952
返品調整引当金	190	197
事業整理損失引当金	—	16,357
移転損失引当金	2,602	—
その他	58,185	31,510
流動負債合計	1,296,253	1,036,146
固定負債		
長期借入金	517,300	916,975
リース債務	3,025	2,217
長期未払金	2,656	2,043
固定負債合計	522,981	921,235
負債合計	1,819,235	1,957,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,185	592,185
資本剰余金	430,560	430,560
利益剰余金	119,035	△91,496
株主資本合計	1,141,780	931,248
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△5,969	6,384
その他の包括利益累計額合計	△5,969	6,384
純資産合計	1,135,810	937,633
負債純資産合計	2,955,046	2,895,016

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	3,680,542	3,847,075
売上原価	1,851,973	2,262,160
売上総利益	1,828,568	1,584,915
返品調整引当金戻入額	—	190
返品調整引当金繰入額	—	197
差引売上総利益	1,828,568	1,584,908
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	298,955	334,852
販売手数料	142,228	148,550
運賃梱包費	386,891	372,843
広告宣伝費	316,062	325,038
ポイント引当金繰入額	6,790	13,899
賞与引当金繰入額	13,506	17,952
その他	436,341	502,681
販売費及び一般管理費合計	1,600,775	1,715,817
営業利益又は営業損失(△)	227,792	△130,909
営業外収益		
受取利息	246	328
受取損害賠償金	—	1,167
その他	961	297
営業外収益合計	1,207	1,793
営業外費用		
支払利息	12,685	9,952
為替差損	4,742	11,660
その他	1,779	3,067
営業外費用合計	19,207	24,680
経常利益又は経常損失(△)	209,792	△153,796
特別損失		
事業整理損失引当金繰入額	—	16,357
固定資産除却損	755	—
特別損失合計	755	16,357
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	209,037	△170,153
法人税、住民税及び事業税	85,027	2,475
法人税等調整額	△2,681	37,903
法人税等合計	82,346	40,378
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	126,691	△210,531
四半期純利益又は四半期純損失(△)	126,691	△210,531

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	126,691	△210,531
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,963	12,354
その他の包括利益合計	5,963	12,354
四半期包括利益	132,654	△198,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,654	△198,177
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	209,037	△170,153
減価償却費	45,142	49,687
長期前払費用償却額	1,984	1,449
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△830	△233
ポイント引当金の増減額(△は減少)	340	4,909
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,715	3,283
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	7
移転損失引当金の増減額(△は減少)	—	△2,602
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	△8,097	16,357
受取利息及び受取配当金	△246	△328
支払利息	12,685	9,952
売上債権の増減額(△は増加)	184,348	191,950
たな卸資産の増減額(△は増加)	151,368	179,936
仕入債務の増減額(△は減少)	△114,544	△129,566
未払金の増減額(△は減少)	△82,594	5,228
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,504	7,174
その他	△44,600	△64,536
小計	369,212	102,515
利息及び配当金の受取額	246	328
利息の支払額	△12,781	△9,873
法人税等の支払額	△48,042	△26,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	308,635	66,904
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	2,498	5,796
有形固定資産の取得による支出	△10,291	△28,923
無形固定資産の取得による支出	△40,360	△57,761
その他	△1,054	△14,213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,208	△95,101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100,000	△150,000
長期借入れによる収入	300,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△233,774	△129,569
リース債務の返済による支出	△6,623	△782
財務活動によるキャッシュ・フロー	159,602	319,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,743	△1,774
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	421,773	289,677
現金及び現金同等物の期首残高	338,779	947,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	760,552	1,237,493

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	その他事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,135,643	368,255	176,642	3,680,542	3,680,542
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,135,643	368,255	176,642	3,680,542	3,680,542
セグメント利益又は損失(△)	272,181	△32,501	△11,887	227,792	227,792

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	衣料品 販売事業	玩具・雑貨 販売事業	その他事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,015,899	662,639	168,536	3,847,075	3,847,075
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,015,899	662,639	168,536	3,847,075	3,847,075
セグメント利益又は損失(△)	△130,289	20,070	△20,690	△130,909	△130,909

(注)セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。